

血液学的検査(血液一般検査, 原虫)

項目 コード	検査項目		検体 必要量(mL) 保存	容器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
血液一般検査									
5001	白血球数(WBC)		血液 2.0 冷	5	電気抵抗検出 方式	3,300～9,400 / μ L	21 血	溶血, 凝固検体は不可 【参考】 MCV(平均赤血球容積) 85～99 fl MCH(平均赤血球色素量) 29～36 pg MCHC(平均赤血球色素濃度) 31～36 % 緊急報告値 WBC 1,000 / μ L 以下 25,000 / μ L 以上 Hb 5 g/dL 以下 Ht 15 % 以下 Plt 3×10^4 / μ L 以下 100 $\times 10^4$ / μ L 以上	1～3
5002	赤血球数(RBC)				電気抵抗検出 方式	M: 440～560 $\times 10^4$ / μ L F: 390～510 $\times 10^4$ / μ L			
5003	血色素量(Hb)				比色法 (SLS-Hb法)	M: 13.5～17.0 g/dL F: 11.7～15.5 g/dL			
5004	ヘマトクリット値(Ht)				赤血球パルス 検出方法	M: 41.0～51.0 % F: 35.0～45.0 %			
5008	血小板数(Plt)				電気抵抗検出 方式	13.5～37.5 $\times 10^4$ / μ L			
5009	網赤血球数(Ret)				Brecher法	5～15 %			
5010	好酸球数(Eos)				電気抵抗検出 方式	70～440 / μ L	17 血 ※1		
5020	白血球 分類	自動化法	塗抹標本 2～3枚 未固定 室	75	自動化法	Eosino 0～7 % Baso 0～2 % Neutro 38～71 % Lympho 20～47 % Mono 0～8 %	15 血 ※1	緊急報告値 芽球30% 以上	1～3
5050		血液像鏡検法			鏡検法 (ライト・ギムザ 染色法)	Eosino 0～5 % Baso 0～1 % Stab 1～14 % Seg 37～57 % Lympho 20～47 % Mono 0～8 %	25 血 ※1	1～3	
5130	LE細胞		血液 10.0 室	3	Magath- Winklegの凝 血法	(一)	—	凝固阻止剤を使用しないで採 血し、全血で提出してくださ い。 他の検査との共用は避けて 単独で提出してください。	1～3
原虫									
5140	マラリア鏡検		厚層・薄層 塗抹標本 各2枚 室	75	鏡検法 ギムザ染色法	(一)	40 血	厚層標本は血液一滴を1cm の円にして乾燥してください。	2～3
5141	フィラリア鏡検		厚層・薄層 塗抹標本 各2枚 室	75		(一)	40 血	深夜に採血してください。	2～3

※1 同一検体について、好酸球数と末梢血液像の検査を行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定します。

血液学的検査(骨髓像・特殊染色, 凝固・線溶系)

項目コード	検査項目	検体 必要量(mL) 保存	容器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
骨髓像・特殊染色								
5300	骨髓像	塗抹標本 2～3枚 (未固定) 室	75	鏡検法 (ライト・ギムザ 染色法)		788 血		3～5
5210	ALP染色	1項目につ き塗抹標本 2～3枚 室	75	朝長法	170～368 score	血液像 各52 加算 骨髓像 各60 加算		3～5
5201	ペルオキシダーゼ染色			αナフトール・ ブリリアントク レシル青法				3～5
5220	PAS染色			Wisioki法				3～5
5230	鉄染色			Mc.Fadzean 簡易法				3～5
5260	SBB染色			Sheehan& storey変法				3～5
5241	エステラーゼ染色			Li法 α-NB・N- ASDCLA 二重染色法				3～5
5242	エステラーゼ染色NaF抑制 試験			Li法 α-NB・N- ASDCLA 二重染色法			NaF抑制試験はエステラーゼ 染色とセットでご依頼くださ い。	3～5
凝固・線溶系								
5540	アンチトロンビン活性 (AT活性)	血漿 0.4 凍	8 ↓ 1	合成基質法	80～130 %	70 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。 A	2～3
5520	FDP (フィブリン分解産物)	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	ラテックス凝 集法	5 μg/mL 以下	95 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。 A	2～3
5522	Dダイマー	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	ラテックス凝 集法	1.0 μg/mL 以下	127 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。 A	2～3
5501	PT (プロトロンビン時間)	血漿 0.4 冷	8 ↓ 1	Quick一段法 (ドライケミスト リー法)	9.0～13.0 秒 70 % 以上	18 血		2～3
5505	APTT (活性化部分トロンボプラス チン時間)	血漿 0.4 凍	8 ↓ 1	エラジン酸活 性化法	26.0～38.0 秒	29 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。 A	2～3
5510	フィブリノゲン	血漿 0.4 凍	8 ↓ 1	トロンビン法	170～410 mg/dL	23 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。 A	2～3

※1 前日までにお問合わせください。

71ページ出血・凝固参照

血液学的検査(凝固因子, 血小板機能, その他)

項目 コード	検査項目	検体 必要量(mL) 保存	容 器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
凝固因子								
5552	第Ⅱ因子凝固活性	1項目 につき 血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	ヒト欠乏血漿 による補正法 (凝固一段法)	66.0～118.0 %	223 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。	3～6
5553	第Ⅴ因子凝固活性				73.0～122.0 %	223 血		
5554	第Ⅶ因子凝固活性				54.0～162.0 %	223 血		
5555	第Ⅷ因子凝固活性				78.0～165.0 %	223 血		
5556	第Ⅸ因子凝固活性				67.0～152.0 %	223 血		
5557	第Ⅹ因子凝固活性				58.0～200.0 %	223 血		
5558	第ⅩⅠ因子凝固活性				75.0～137.0 %	223 血		
5559	第ⅩⅡ因子凝固活性				36.0～152.0 %	223 血		
5560	第ⅩⅢ因子凝固活性			合成基質法	70～140 %	223 血		
血小板機能								
5580	血小板第4因子 (PF-4)	血漿 0.6 凍	15 ↓ 1	EIA法	20.0 ng/mL 以下	173 血	※1 予め氷水中につけた専用容 器に4.5mL採血し転倒混和し てください。再び氷水中に戻し 15分以上静置し、1時間以内 に2500g20分間冷却遠心し上 清の中程から必要量を採取し てください。凍結保存し、単 独検体で提出してください。 A	4～7
5575	β-トロンボグロブリン (β-TG)	血漿 0.6 凍	15 ↓ 1	EIA法	50.0 ng/mL 以下	171 血		4～7
その他								
5570	フォン・ウィルブランド因子 活性	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	固定血小板凝 集法	50～150 %	126 血	※1 採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存してください。 検査項目ごとに単独検体で提 出してください。	3～6
5597	第Ⅷ因子インヒビター定量	血漿 1.0 凍	8 ↓ 1	Bethesda法	1.0 BU/mL 以下	144 血		3～6
5599	第Ⅸ因子インヒビター定量	血漿 1.0 凍	8 ↓ 1	Bethesda法	1.0 BU/mL 以下	144 血		3～6
5550	可溶性フィブリンモノマー複 合体(SF)定性	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	ラテックス凝 集法	濃度：7.0未満 判定：(－) μg/mL	93 血		3～6
5596	プラスミン-α ₂ -プラスミンイ ンヒビター複合体(PIC)	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	ラテックス凝 集法	0.8 μg/mL 以下	150 血		3～4
5585	プロテインC活性	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	合成基質法	82～112 %	227 血		3～4
5598	トロンビン-アンチトロンビン 複合体 (TAT)	血漿 0.3 凍	8 ↓ 1	ラテックス凝 集比濁法	4.0 ng/mL 未満	166 血		A

※1 前日までにお問合わせください。

71ページ出血・凝固参照